



希望のケルン

令和3年4月23日発行
藤沢町住民自治協議会
〒029-3405
一関市藤沢町藤沢字仁郷 12-5
電話:63-5515 Fax:63-5517
Mail: fuji@dontokoi-f.com
ホームページ URL: <https://dontokoi-f.com/>
皆様の情報をお待ちしております。

令和3年度が新体制でスタート

藤沢町住民自治協議会では、今年度より藤沢市民センターの指定管理2期目となる新たな5年がスタートしました。

4月からは、新しく鈴木良久さんが事務局職員として加わり、職員5名の体制となりました。

辞令交付式で千田会長は、「藤沢市民センターの指定管理が、4月より新たな5年のスタートとなりました。現在は新型コロナ禍で活動が制限されていますが、各自治会や各種団体と共に、様々な活動や地域の悩みを共有し、門戸を広げ、この市民センターを拠点として活動していきたい。」と話しました。

今後とも、藤沢町住民自治協議会の活動に、ご理解とご協力をお願いします。



辞令を渡す、千田博会長



新体制となった住民自治協議会職員



～～ 新任の挨拶（ひとこと） ～～

新しく事務局職員となりました、鈴木良久と申します。

地域に少しでもお役にたてたらと思います。
よろしくお願い致します。

藤沢の魅力を発信 情報誌「Charcas」を発刊



藤沢町住民自治協議会では、産業部会が中心となり今年3月に情報誌「Charcas」を発刊し、市内公共施設や道の駅、首都圏のふるさと会へ配布しました。

この情報誌「Charcas」の名称は、「Charm（魅力）」と「Casket（玉手箱）」を合わせた造語で、藤沢の魅力がたくさん詰まった情報誌にしたいと部会員の思いが込められています。

第1弾の「農業編」では、町内で米やりりんご、トマト、イチゴ、牛、豚などを育てている農業者1団体と11人を取り上げています。

この情報誌の「QRコード」にスマホでかざすと、「ユーチューブ」でインタビューの動画が閲覧できますので、ぜひご覧下さい。また、情報誌は藤沢市民センターロビーにも置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。

今年度は「観光編」を作成する予定です。今後とも地域の皆さんの情報提供やご協力をお願い致します。



第83回生活物資リサイクル集団回収が終わる

第83回生活物資リサイクル集団回収事業は、3月14日（日）大籠・保呂羽地区で終了しました。今回、回収されたりサイクル資源の量は、下記のとおりとなりました。

第84回生活物資リサイクル集団回収は、6月27日（日）八沢地区から行います。今後とも、皆様のご協力をお願い致します。

地 区 名	金属類	古紙類	ビン類
藤沢地区	456	10,382	299
黄海地区	282	8,516	743
八沢地区	574	8,058	455
保呂羽・大籠地区	514	7,170	278
合 計	1,826	34,126	1,775

（単位 金属・古紙 Kg、ビン 本）



春季クリーンアップ一斉清掃が終わる。

令和3年度春季クリーンアップ一斉清掃は、4月4日（日）午前6時から藤沢町内で行われました。

新しい年度の4月を迎え、最初の事業実施となったこの日は穏やかな日差しの中道路周辺の清掃、側溝の泥あげ、道路脇の草むらや側溝に捨てられた空き缶などを拾う作業が行われました。参加者からは「まだまだ道路に空き缶を捨てる人が多いですね。」と残念がっていました。

今後とも「きれいなまちづくり」の推進にご協力をお願いします。

なお、秋季クリーンアップ一斉清掃の日程は、第3日曜日の10月17日（日）に変更となりますので、自治会での周知をお願いします。



上：
24区自治会の皆さん



左：
3区自治会の皆さん

保呂羽地区で、「地域のお宝案内看板」を設置

保呂羽地区自治会協議会では、藤沢町住民自治協議会「地域のお宝活用事業」を活用し、保呂羽地域の名所・旧跡をあらためて調査し、地域の宝を再認識してもらうため、案内看板を作成し、保呂羽コミュニティセンターに設置しました。

岩淵協議会長は、「地域の名所旧跡を調査し、あらためて地域内の行事や史跡などを再認識できました。これからも地域の歴史などを伝承していきたい。」と、話していました。



保呂羽コミュニティセンターに
設置された案内看板